



JIN-AI

緑春号

平成28年5月発行

# じんあい

編集発行 社会福祉法人 仁愛会 広報推進プロジェクト 発行責任者 織内かほる

高砂荘 木もれ陽  
 ヴィラ白鳥  
 白鳥の里デイサービスセンター  
 くらしの郷  
 仁愛グループホーム  
 仁愛ケアプランサポートセンター

ホームページ  
<http://jin-ai-kai.jp>

## 社会福祉法人仁愛会 所属 介護支援専門員に聞く目標と抱負

社会福祉法人仁愛会の居宅介護支援事業は、介護保険制度施行に合わせ平成12年4月から運営いたしております。平成27年2月から「仁愛ケアプランサポートセンター」に改称し、現在は7名の介護支援専門員(ケアマネジャー)が所属しております。利用者様の意向に添ったケアプランを作成し様々なサービス事業所との連携により、住み慣れたご自宅での生活が持続できるように「何が最善か」を念頭に置いた支援に努めております。当法人の特性を踏まえつつ地域の社会資源を最大限に活用して、利用者様、ご家族様の望む生活が実現するためのお手伝いをいたします。



管理者  
介護支援専門員  
小野 清美

今回は、「仁愛ケアプランサポートセンター」に所属する7名の介護支援専門員(ケアマネジャー)に、それぞれの目標と抱負を伺いました。



織内本部長、平田副本部長を交えて

現代における多種多様な家族背景、複雑化するご本人が抱える生活課題に日々直面し、お一人おひとりの声を聴きながら考えることを大切にしております。それぞれが思い描く生活の実現のためあらゆる手段・方策を講じ、幅広い視野でケアマネジメントを展開して参ります。



介護支援専門員  
佐藤 ひろみ

介護支援専門員の役割は「利用者様の自立支援を重視しながら日常生活を身近でサポートすること」と考えます。自身に求められる役割が十分に果たせるよう、同僚スタッフと情報共有をしながら、私たちの基本理念である「誠心・誠意」を常に心がけ能力開発に努めます。



介護支援専門員  
野部 啓子

どなたもが、「住み慣れた自宅で、いつまでも暮らしたい。」と願う生活されておられます。私は自宅での生活が続けられるような様々な介護保険サービス等の社会資源を活用するとともにご本人やご家族の都合や希望を踏まえ、その方にとっての「最善」を尽くします。



介護支援専門員  
新井 宏樹

昨今、テレビなどで介護サービスの地域格差、医療費の増大など色々なニュースが報じられております。当法人は多角的な介護サービス事業所を運営しており、地域の特性や利用者様のご希望に応えられる体制が構築されております。私たちはこの強みを生かし「住み慣れた自宅で、地域で、自分らしく暮らしたい。」その願いを具現化するためのお手伝いをさせていただきます。



介護支援専門員  
佐藤 陽輔

私は、平成28年4月より介護支援専門員として新たなスタートを切りました。利用者様やご家族様と直接お会いし胸の内に抱える様々な思いや現在の心身状況を把握することで、何が一番必要なのかを肌で感じる事ができます。利用者様をとりまく専門職と強く連携し、よりよい明日に繋がるように共に邁進できるような仕事をしてゆきます。



介護支援専門員  
猪狩 真由美

私は、介護員、相談員の職を経て4月1日着任しました。諸先輩方々の指導を受けながら日々の業務に徹しております。これからも法人の基本理念を念頭に置き、今まで培った介護技術やコミュニケーション能力を生かしながら自分の「強み」を発揮しつつ、利用者様の思いや気持ちに寄り添い、安心安全な生活が送れるようまごころの支援に努めます。



介護支援専門員  
遠藤 麻美子

— ありがとうの気持ちが伝わった。